

日本軍による「集団自決」の強制はなかったという主張は、
「大江・岩波沖縄戦裁判」の判決で否定されました。

現在使われている高校の歴史教科書の
沖縄戦の記述が書き換えられているの
をご存じですか。沖縄戦で起きた住民の
「集団自決」についての記述から「日本軍
による強制」という文書を削除。「集団
自決」がまるで住民自らの意志であるか
のように言い換えられています。それは

沖縄の人たちに対する差別、侮辱に他な
りません。
文部科学省が検定意見を正しいとす
る唯一最大の根拠である、当事者の証言(大
江・岩波沖縄戦裁判の原告 梅沢裕之守備
隊長の陳述)の信用性は、大阪地裁判決
(3月28日)で否定されているのです。

判決は、「集団自決」を生き残った人
たちの「体験談等は、いずれも自身の実
体験に基づく話として具体性、迫真
性を有する」「日本軍の兵士か
ら米軍に捕まりそうになっ
た場合には自決を促さ
れ、そのための手段と

文科省が、それでも

「検定意見は正しい」と

いいはるのは、なぜでしょうか。

して手榴弾を渡されたことを認めるこ
とができる」とし、自決用に手榴弾が渡
されて使用されたと認めました。その一方、
梅沢の「証言」や「陳述書」は「信用性に
疑問がある」と断定しているのです。

否しています。

強制的な「集団自決」を、どうしても
「清らかな死」にしたい。そして「お国のた
めに死ぬ」ことを美化したい。という意図
が見え見えます。

歴史の書き換え。それは、国民を再び
戦争にかりたてるために必要な作業(中

にもかかわらず、文部科学省は「検定
意見は正しいと思っている」と撤回を拒

高生の頃
から軍隊への抵抗感をなくすための
思想教育」としか思えません。
”お国のために死ぬのは、もう二度
とごめんです。



文科省殿。歴史をねじ曲げず、
事実を正しく伝える教科書に戻してください。

連帯ユニオン

TEL. 06 (6583) 5546
FAX. 06 (6582) 6547

www.rentai-union.com

〒550-0021 大阪市西区川口2-4-28

あなたは 戦争（改憲）に賛成ですか。 私は反対です。

戦争の準備は着々と進められていきます。というとき、あなたもそんな馬鹿な、とお思いでしょう。しかし、これまで政府が進めてきたこと、これからさらに進めようとしていることをしっかり見てください。

●「国旗・国歌法」による君が代・日の丸の強制 ●「住基ネット」による国民の管理 ●「共謀罪」「盗聴法」による言論や思想の自由の制限 ●「監視カメラ」「生活安全条例」による国民の監視 ●「テロ特措法」「イラク特措法」など有事法制による自衛隊の海外派兵 ●強制連行、従軍慰安婦、南京虐殺、集団自決強制などの歴史的事実の教科書からの消去……

日本を再び「戦争ができる国」「戦争をする国」に戻すための法律整備や思想教育が着々と進んでいます。そして、最後の仕上げが「改憲」。「戦争の放棄、戦争の不保持、交戦権の否認」を宣言している憲法第9条を全面的に改憲して自衛軍を保持し、アメリカ

民の管理 ●「共謀罪」「盗聴法」による言論や思想の自由の制限 ●「監視カメラ」「生活安全条例」による国民の監視 ●「テロ特措法」「イラク特措法」など有事法制による自衛隊の海外派兵 ●強制連行、従軍慰安婦、南京虐殺、集団自決強制などの歴史的事実の教科書からの消去……

力の要請に応じていつでも、どこでも派兵し、交戦できるようにすることです。戦争は、けつして国民の生命と財産を守るためのものではありません。戦争は国民を犠牲にして、権力者たちが領土や資源を獲得したり、権益を拡大していくために行うものです。何よりもイラク戦争がそのことをよく

教えてくれているではありませんか。

もし憲法9条が改憲されていたら、イラク戦争で自衛隊はどうしたでしょうか。もう一度、考えてみてください。

知らない間に、パズルは埋められていきます。
「戦争をする国」へ、最後のピースは「改憲」です。



連帯ユニオン

TEL. 06 (6583) 5546

FAX. 06 (6582) 6547

www.rentai-union.com

〒550-0021 大阪市西区川口2-4-28